

## 仔魚床の有無・飼育密度の違いがサクラマス仔魚の成長・生残に及ぼす影響

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-08-06 キーワード (Ja): サクラマス; 仔魚管理; 仔魚床; 飼育密度 キーワード (En): 作成者: 飯田, 真也, 戸叶, 恒, 片山, 知史 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010587">https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010587</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



## 仔魚床の有無・飼育密度の違いがサクラマス仔魚の成長・生残に及ぼす影響

飯田真也・戸叶 恒・片山知史

本研究は、堅型式ふ化槽を用いて飼育環境の違いがサクラマス仔魚の成長に与える影響を評価した。仔魚が身を寄せる基質（以下、仔魚床）の有無や飼育密度を変えて4つの試験区を設定した。ふ化槽に収容した発眼卵がふ化して浮上稚魚に至るまでの生残率は、飼育環境によって変化しなかった。同じ飼育密度の場合、浮上稚魚の体重は、仔魚床のあるふ化槽の方が仔魚床のないふ化槽に比べて有意に重かった。仔魚床がない場合、浮上稚魚の体重は、飼育密度が高いふ化槽の方が低いふ化槽に比べて有意に重かった。以上より、仔魚床および飼育密度は、仔魚の成長に影響を及ぼすこと、特に仔魚床の敷設は仔魚を安静化させ、卵黄エネルギーの成長への転換に寄与すると考えられた。

水産技術, 9 (2), 71-75, 2017